

報道関係各位

**東京都市大学「原子力研究所」と「メディア情報学部の研究室」が連携
大学生が福島市内の児童 約35名に「インフォグラフィクス」を用い
わかりやすい放射線教育を実施**

■2013年9月3日(火) 午前10時30分～12時05分

■会 場：福島市立湯野小学校（福島県福島市飯坂町）

学校法人五島育英会
東京都市大学

東京都市大学（学長：北澤宏一）の本学原子力研究所（神奈川県川崎市）、岡田往子准教授らは、同メディア情報学部（神奈川県横浜市）の小池星多准教授研究室が取り組む「インフォグラフィクス」の手法を用い、来る2013年9月3日（火）の10時30分より、同研究室の学生10名が、福島市立湯野小学校（福島県福島市飯坂町）の6年生 約35名に放射線教育を行います。

今回の活動では、情報を図解により可視化して理解を深める「インフォグラフィクス」の手法を放射線教育の教材化に応用し、原子力・放射線の研究を専門としていない小池研究室の学生がこの制作を通し自らも学びながら、小学生に対してよりわかりやすい放射線教育を実践します。放射線の研究を専門とする「原子力研究所」と、情報デザインを研究対象とする「メディア情報学部」を有する東京都市大学ならではの取り組みと言えます。

福島県内では、福島第一原子力発電所の事故以来、全国の大学が放射線教育や除染活動に協力していますが、本学も、岡田准教授を中心にこれまで培ってきた研究・教育の成果を活かし、県内の小中学校へ2012年度から現在まで約30回の出張授業等に取り組んできました。今回の放射線教育では、これまでの経験を活かし、小中学生に放射線の正しい知識を容易に理解させ興味関心を持たせるとともに、将来的にはより多くの教職員が容易に放射線教育を行えるようにすることを目指しています。

なお、今回の活動を含めた研究成果については、2014年3月の原子力学会において発表を予定しています。

理工系から社会科学系まで幅広い研究分野を網羅する東京都市大学の6学部18学科では、その研究・教育の成果を時代と社会が擁する様々な課題解決に向け、より積極的に貢献してまいります。

東京都市大学の原子力研究所とメディア情報学部の研究室によるインフォグラフィクスを用いた小学校での放射線教育の実施概要は以下の通りです。

東京都市大学「原子力研究所」と「メディア情報学部の研究室」が連携
大学生が福島市内の児童 約 35 名に「インフォグラフィクス」を用い
わかりやすい放射線教育を実施

開催概要

- 開催日時：2013年9月3日（火）午前10時30分～12時05分
- 場 所：福島市立湯野小学校（福島県福島市飯坂町湯野字台7）
- 講師：東京都市大学 原子力研究所 准教授 岡田往子
同 メディア情報学部 社会メディア学科 准教授 小池星多
同 小池研究室の学生 10名
- 当日 スケジュール：
 - 10：30～10：45 挨拶（岡田准教授）、教員・学生自己紹介
 - 10：45～11：05 放射線教室（岡田准教授）
 - 11：05～11：55 体育館内に設置された各ブースで小池研究室の
学生が小学生に説明を行う
 - 11：55～12：05 感想と意見交換
終了

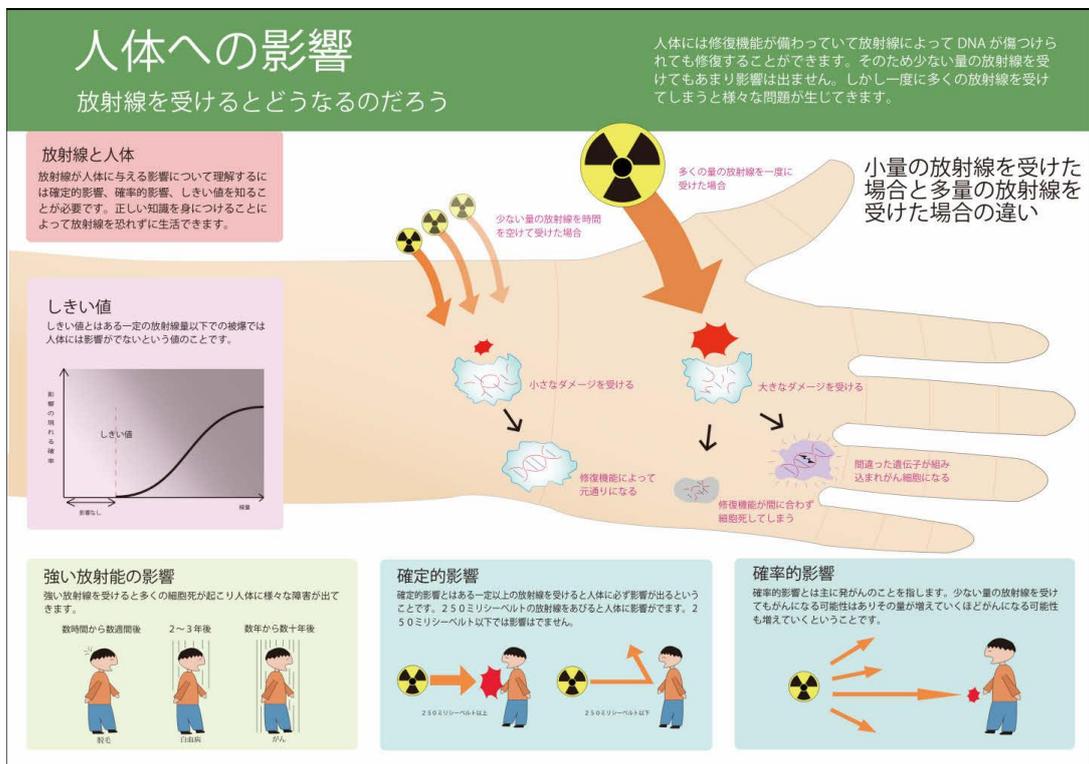
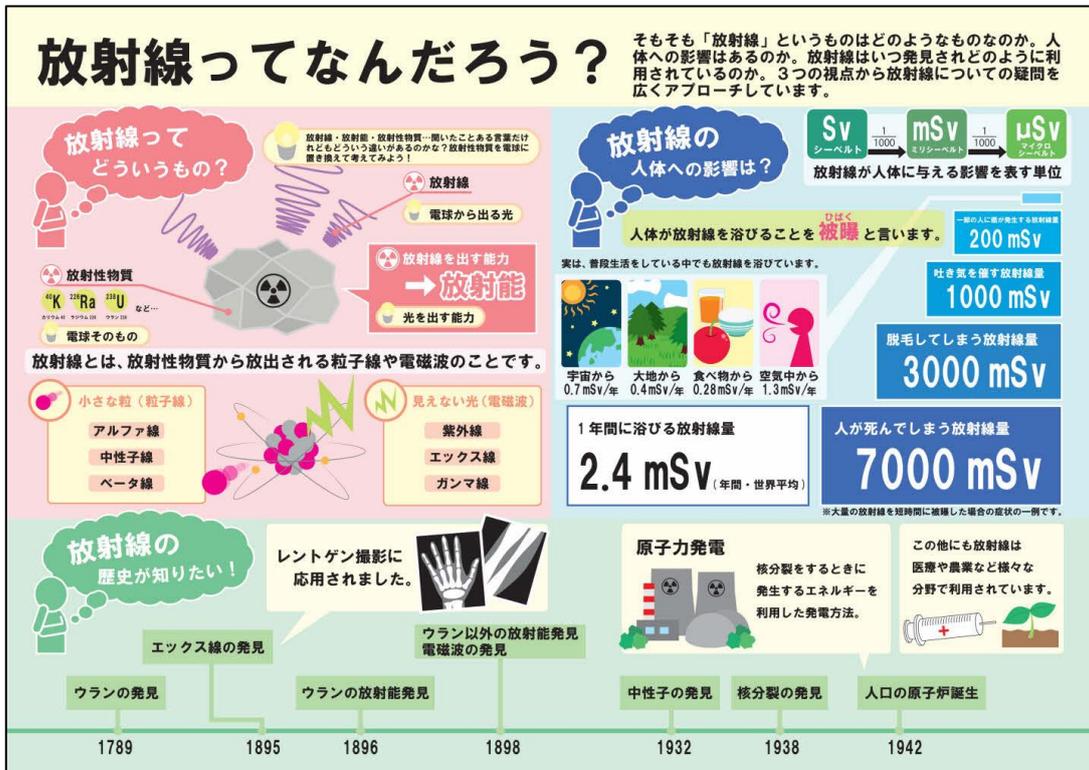
～本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします～
東京都市大学 岡田准教授
TEL: 03-5707-0104 (代)

<参考>

インフォグラフィクスとは

インフォグラフィクス（英語：infographics）は、情報、データ、知識を視覚的に表現したものであり、情報を素早く簡単に表現したい場面で用いられ、標識、地図、報道、技術文書、教育などの形で使用されています。計算機科学や数学、統計学においても、概念的情報を容易に理解させるために用いたり、科学的情報の可視化にも広く利用されています。

今回の放射線教育で使用される予定のインフォグラフィクス ※いずれも制作途中



東京都市大学 原子力研究所について

当研究所は東京都市大学の前身である武蔵工業大学の附置研究所として、1960年に川崎市麻生区王禅寺に開設。この研究所の中に TRIGA-II 型研究用原子炉（武蔵工大炉）が設置されました。

1963年1月の初回臨界の達成以来、大学の原子炉として、学部・大学院学生の原子力教育の利用を軸に、日本全国の研究者・技術者にも共同研究施設としても門戸を広く開放してきました。殊に、脳腫瘍・皮膚癌の治療研究、放射化分析による物質・環境中の微量元素の解析等で国際的な研究の成果を積み重ねてきました。

1989年12月に炉心タンクから冷却水漏れが見つかり原子炉の運転を停止し、2003年5月に原子炉廃止の方針決定をして永久機能停止措置を行い、2006年には使用済燃料を全て米国に返還しました。現在は、教職員、原研配属の学部生・大学院生が、現存する原子炉施設・放射線取扱施設、実験設備、計測・制御機器等を用い、教育と研究活動を続けています。

3.11（福島原発事故）以降は、長年培ってきた研究と技術を活用し時代と社会の要請にこたえるべく、放射線教育、放射線測定などの社会貢献にも力を入れています。

所在地： 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 971 番地

ホームページ： <http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>

東京都市大学 メディア情報学部 社会メディア学科 小池研究室について

小池研究室では、生産技術の視点からではなく、ユーザ（利用者）の視点の立場から、「道具、システム、サービス、学習環境」などを研究、デザインする活動を行っています。これまで、バス路線図、駐車場のサイン、ロボット、情報教育の教材、情報機器のインタフェースなどのデザインを行っています。

2003年 横浜市営地下鉄「センター南」駅のバス路線図をデザイン

2003年～2011年 NEC とパーソナルロボットの共同研究

2004年 横浜市都筑区役所の地下駐車場のサインをデザイン

2006年 本学環境情報学部の海外研修プログラム「ネパールプロジェクト」において現地で使用するための英語による環境教育の教科書をデザイン

2008年 子育て支援のNPO団体と共同で、横浜市都筑区の公園情報のマップを制作

2008年 横浜市都筑区の統計情報のインフォグラフィックスを製作
(横浜市都筑区役所の委託研究)

2009年～2013年 3Dプリンターを活用したプロダクトデザイン

2009年 神奈川新聞と共同で衆議院選挙への若者の投票行動を即す新聞紙面（インフォグラフィックス）をデザイン

2009年 東京都多摩市のコミュニティバスのラッピングをデザイン

2009年～2011年 東京都市大学附属小学校においてロボットを活用したワークショップ

2012年 ソーシャルロボット「マグボット」を製作

ホームページ： <http://koike-infodesign-lab.cocolog-nifty.com/blog/>

Facebook : <https://www.facebook.com/pages/Koike-Information-Design-Lab/333950203312040>